

勝間田裕子 **個展** +3 vol.4

2011年6月9日(木)

開演=19:00 開場=18:30

東京オペラシティ リサイタルホール

入場券 (全席自由)=一般: ¥3,000 学生: ¥2,000

松平頼暁: 閃光(1997) Sparkle

湯浅譲二: 蕪村五句(2007) Five Haiku from Buson

近藤譲: ^{そまみち} 杣径(2008・日本初演) Holzwege

三宅榛名: 新作(委嘱初演)

勝間田裕子: 雷鳴(2010・初演) Thunders

指揮・ギター: 佐藤紀雄

演奏: アンサンブル・ノマド

ピアノ: 三宅榛名 ソプラノ: 平松英子

■お問い合わせ・ご予約 東京コンサーツ / tel: 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp/> 東京コンサーツ HP でチケット予約、セブンイレブンで支払・受取ができます

■前売り 東京オペラシティチケットセンター / tel: 03-5353-9999 <http://www.operacity.jp/ticket>

■主催: 勝間田裕子 ■制作協力: 東京コンサーツ

勝間田 裕子

Yuko Katsumata Selfportrait +3

個展 +3 vol.4

2011年6月9日(木) 開演=19:00 開場=18:30

東京オペラシティリサイタルホール(東京オペラシティタワー B1F)
入場券(全自由席)=一般:¥3,000 学生:¥2,000

勝間田裕子(作曲家)

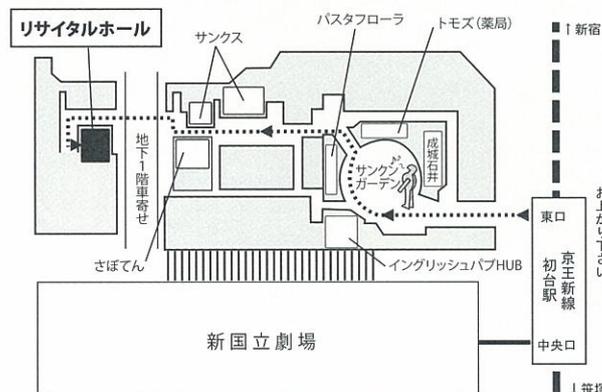


東京に生まれる。13歳より清瀬保二に師事。日本人の立場から作曲する大切さを学ぶ。師の紹介で、桐朋学園高校、大学を通じ、作曲を別宮貞夫に学ぶ。1981年、自分の立場からヨーロッパ音楽をとらえかえすためイタリアに渡り、ローマ大学で音楽史と民俗音楽を学ぶ。1982年、オランダでの平山美智子による初演作品を含むレコード『ROMA AMOR』(コジマ録音)を発表後、コンポーザー・パフォーマーとして、ポーリン・オリベロス等とのコラボレーションを含め、ヨーロッパ、日本各地でユニークな活動を展開している。西武スタジオ200においては、松平頼暁監督による『勝間田裕子の世界』を2回にわたって行った。声を使った作品を中心に、『KOKORO』などの代表作がある。2007年12月に『勝間田裕子 個展+3』と題し、自身の新作と同時代の作曲家の作品による意欲的なコンサートをスタートした。以来、2008年、2010年、と継続して開催、今回が4回目になる。

入場券(全自由席)=一般:¥3,000 学生:¥2,000
前売り=東京オペラシティチケットセンター Tel: 03-5353-9999
お問い合わせ・ご予約=東京コンサーツ
東京都新宿区愛住町 23 番地ベルックス新宿ビルII 6F
Tel: 03-3226-9755 Fax: 03-3226-9882 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>
◎主催: 勝間田裕子 ◎制作協力: 東京コンサーツ

東京オペラシティ リサイタルホール(東京オペラシティタワーB1F)

〒163-1403 東京都新宿区西新宿 3-20-2
Tel: 03-5353-0788 <http://www.operacity.jp/>



東京オペラシティへのアクセス

- 【電車】●京王新線「初台」駅下車 徒歩1分(東口直結)
- 【バス】●渋谷駅西口バスターミナルより20分
 - ・「初台駅行」渋61、「中野駅南口行」渋63、京王バス「中野駅行」渋64、「阿佐ヶ谷駅行」渋66
 - ・都営バス「阿佐ヶ谷駅行」渋66



松平頼暁(作曲家)

東京都立大学理学部卒。1958年、総音列主義による変奏曲で国際現代音楽協会 (ISCM) 主催音楽祭に入選、以降度々入選。90年、第3回 K. セロツキ国際作曲家コンペティションでメック出版社特別賞、他受賞多数。99-02年、日本現代音楽協会委員長、01年には ISCM 主催「世界音楽の日々・イン・横浜」の大会会長を勤める。ISCM 名誉会員。



湯浅譲二(作曲家)

慶應義塾大学医学部進学コース在学中から、秋山邦晴、武満徹らと親交を結び、1952年、「実験工房」に参加。オーケストラ、室内楽、合唱、劇場・映像用音楽、コンピューター音楽をはじめ幅広い作曲活動を行い国内外のオーケストラから多数の委嘱を受け、世界各地で演奏されている。尾高賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、他受賞多数。ISCM 名誉会員。



近藤譲(作曲家)

東京藝術大学作曲科卒。1980年、現代音楽アンサンブル、ムジカ・ブラクティカを結成、91年の解散まで、音楽監督を務めた。作品は独奏曲から管弦楽、オペラ、電子音楽作品まで広範にわたる。日本、欧米において演奏されている他、フォンテック、ドイツ・グラモフォン等から多くの作品がリリースされている。また、作曲と美学に関する著作も出版されている。



三宅榛名(作曲家)

作曲家としてはジャンルの枠をこえる知的な作風で知られる。ピアニストとしては、バッハから現代までの演奏、また先鋭的な即興演奏で欧米・アジアの多くのプレイヤーと共演している。ジュリアード音楽院作曲科卒。CDに、作品集「空気の音楽」、ジョエル・レランドルとのデュオ「Short Takes」など多数。

アンサンブル・ノマド《プロフィール》

アンサンブル・ノマド Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(游牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。1998年から毎年開催している定期演奏会は今年40回を数え、これまでイギリス、フランス、ベルギー、オランダ、ベネズエラ、中国、韓国、メキシコなどの音楽祭から招かれ演奏した。サントリー音楽財団「第2回佐治敏三賞」を受賞した。

公式サイト: <http://www.ensemble-nomad.com/>

平松英子(ソプラノ) 東京藝術大学大学院修了後、ミュンヘン音大修了。リート、オペラ、オラトリオの他、湯浅譲二、細川俊夫ほか現代作曲家の初演を手掛ける。ジロー・オペラ新人賞受賞。東京藝術大学准教授、フェリス学院大学講師。